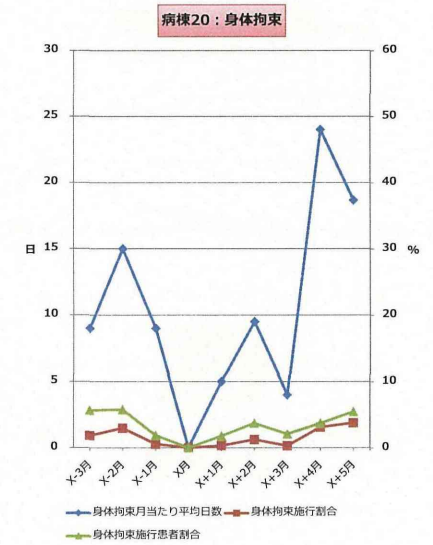
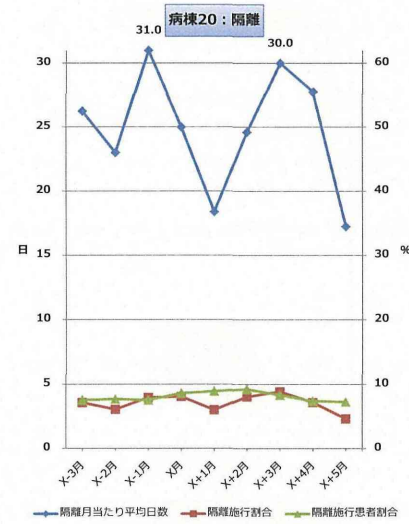


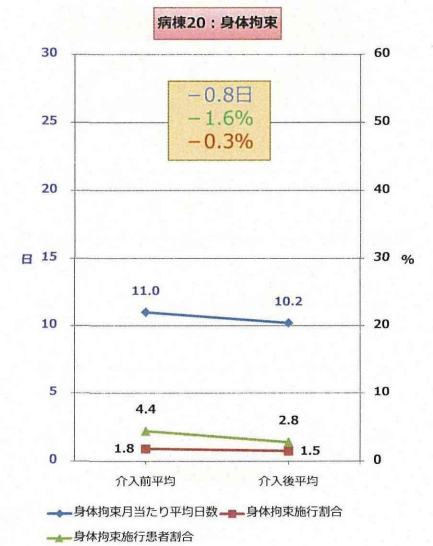
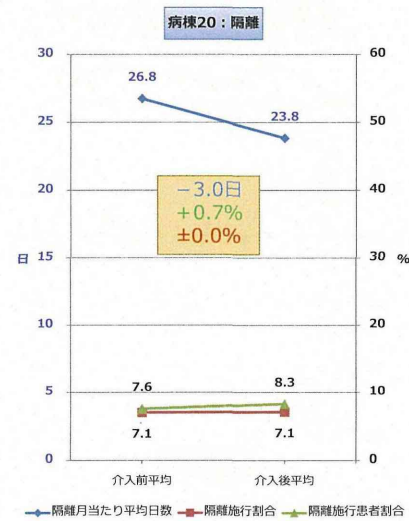
(施設：18) 病棟：20



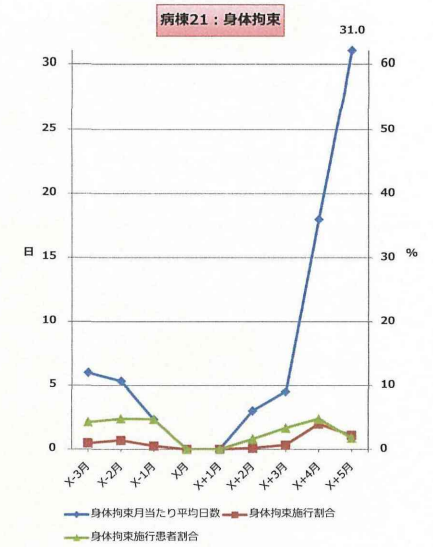
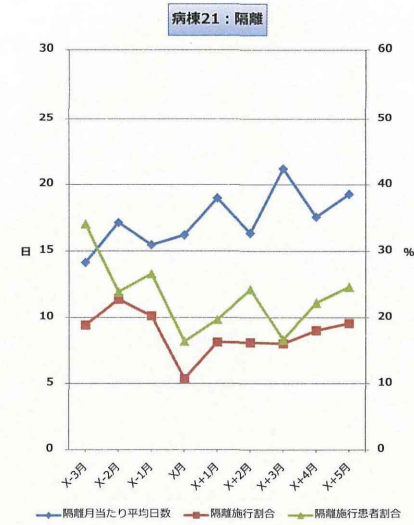
病棟：20

(施設：18) 病棟：20	介入		
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)	D. 隔離・身体拘束データを師長会で定期的 (月1回) に見直す
入院料	精神15対1	精神15対1	
看護師配置			
女性 (うち准看護師)	17 (9)	17 (9)	
男性 (うち准看護師)	3 (0)	3 (0)	
病床数	60	60	
うち隔離室を含む個室数	4	4	
うち耐破壊性能の高い隔離室数	2	2	
最も多くを占める治療対象疾患	F2	F2	
次に多くを占める治療対象疾患	F3	F3	
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	20才以上 65才未満	
新規入棟患者数	3	3	
退棟患者数	5	10	
2011年平均在棟日数	197.6	197.6	

※ 介入前平均：X-3月～X-1月の平均値
介入後平均：X月～X+5月の平均値



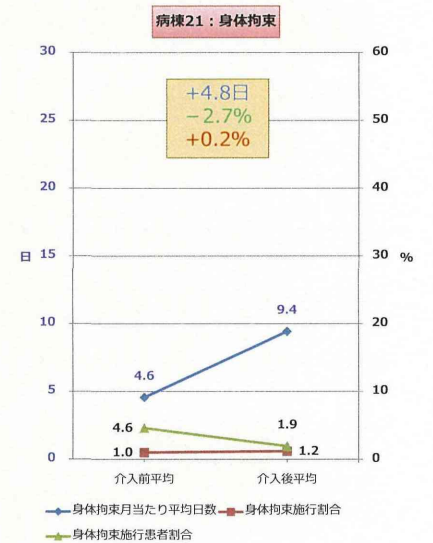
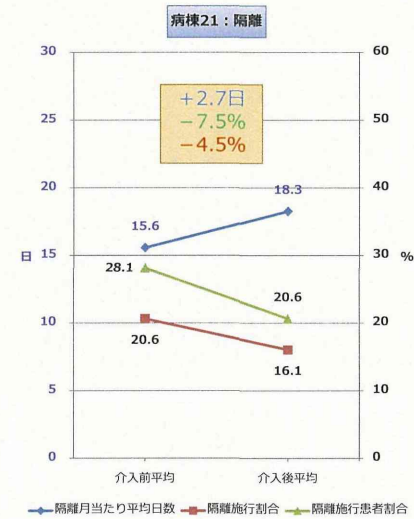
(施設 : 22) 病棟 : 21



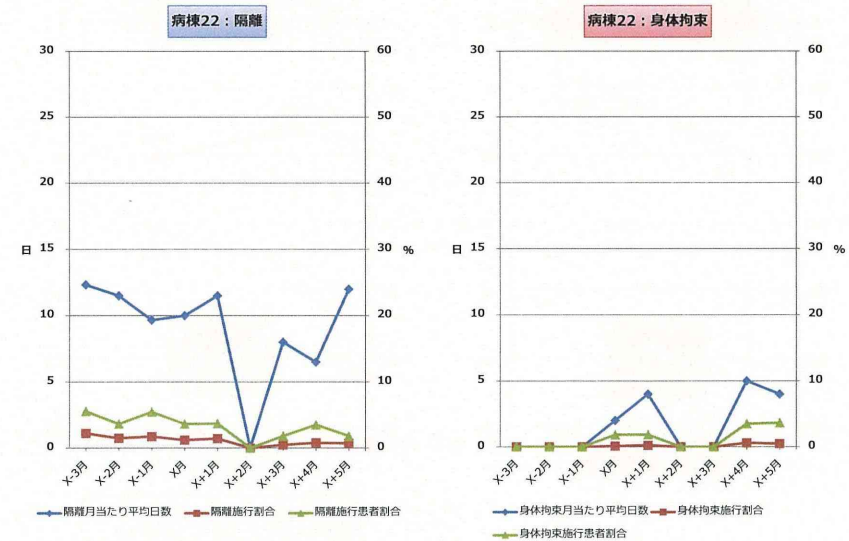
病棟 : 21

(施設 : 22) 病棟 : 21		介入	
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)	E. 認定看護師による定期的研修会の開催
入院料	精神15対1	精神15対1	
看護師配置			
女性 (うち准看護師)	6 (2)	6 (3)	
男性 (うち准看護師)	7 (2)	11 (2)	
病床数	53	53	
うち隔離室を含む個室数	12	12	
うち耐破壊性能の高い隔離室数	3	3	
最も多くを占める治療対象疾患	F2	F2	
次に多くを占める治療対象疾患	F7	F3	
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	20才以上 65才未満	
新規入棟患者数	6	8	
退棟患者数	4	3	
2011年平均在棟日数	167	108	

※ 介入前平均 : X-3月~X-1月の平均値
介入後平均 : X月~X+5月の平均値

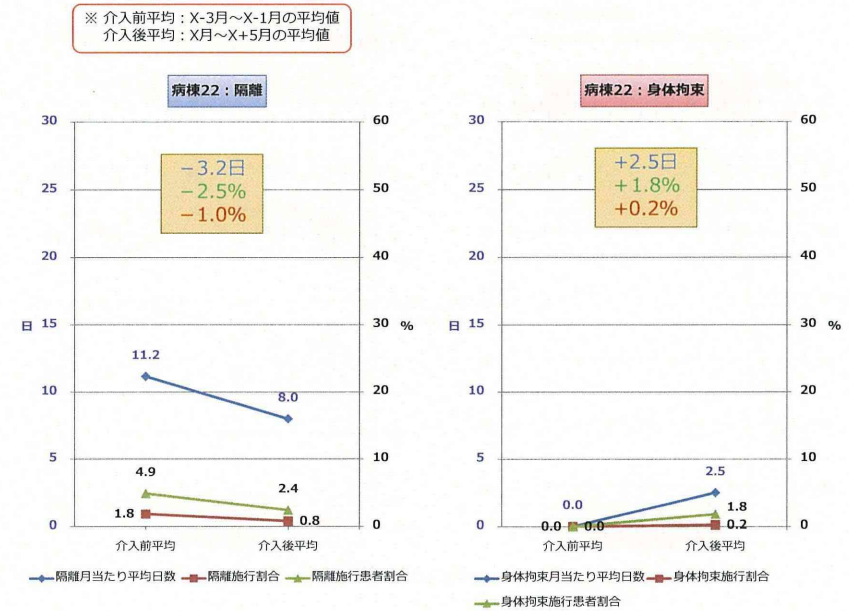


(施設 : 23) 病棟 : 22

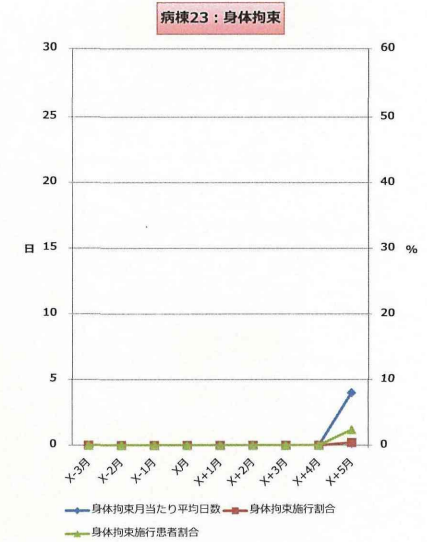
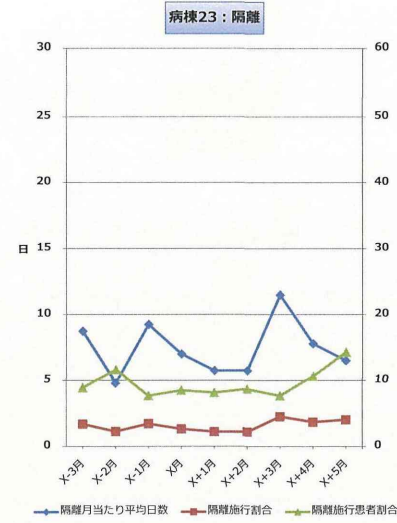


病棟 : 22

(施設 : 23) 病棟 : 22		介入	
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)	E. 認定看護師による定期的研修会の開催
入院料	療養	療養	
看護師配置			
女性 (うち准看護師)	8 (0)	9 (0)	
男性 (うち准看護師)	1 (0)	1 (0)	
病床数	54	54	
うち隔離室を含む個室数	8	8	
うち耐破壊性能の高い隔離室数	5	5	
最も多くを占める治療対象疾患	F2	F2	
次に多くを占める治療対象疾患	F0	F4	
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	65才以上	
新規入棟患者数	2	1	
退棟患者数	2	1	
2011年平均在棟日数	302.1	302.1	



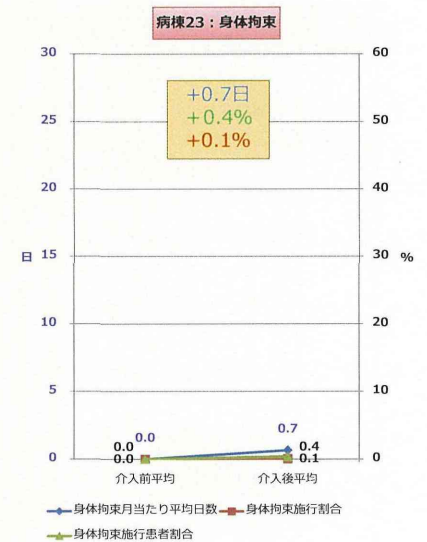
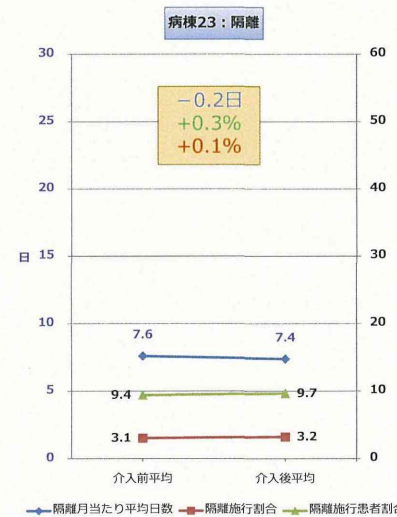
(施設 : 23) 病棟 : 23



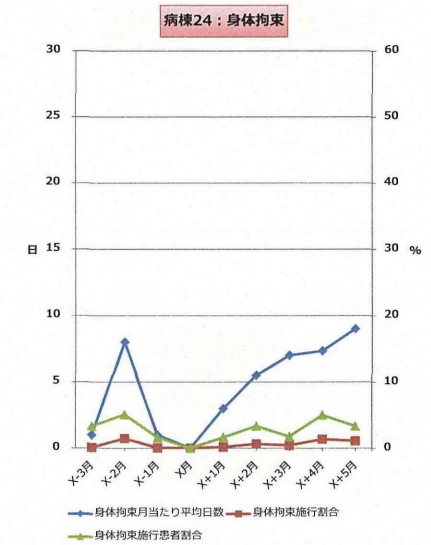
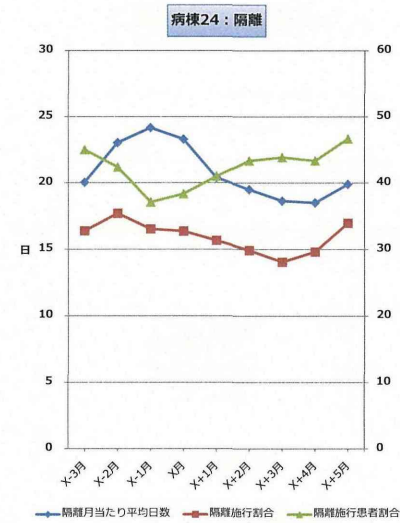
病棟 : 23

(施設 : 23) 病棟 : 23		介入	
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)	E. 認定看護師による定期的研修会の開催
入院料	救急	救急	
看護師配置			
女性 (うち准看護師)	12 (1)	11 (1)	
男性 (うち准看護師)	8 (0)	7 (0)	
病床数	36	36	
うち隔離室を含む個室数	20	20	
うち耐破壊性能の高い隔離室数	8	8	
最も多くを占める治療対象疾患	F3	F3	
次に多くを占める治療対象疾患	F2	F2	
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	20才以上 65才未満	
新規入棟患者数	11	7	
退棟患者数	16	9	
2011年平均在棟日数	63.9	63.9	

※ 介入前平均: X-3月~X-1月の平均値
介入後平均: X月~X+5月の平均値



(施設：24) 病棟：24

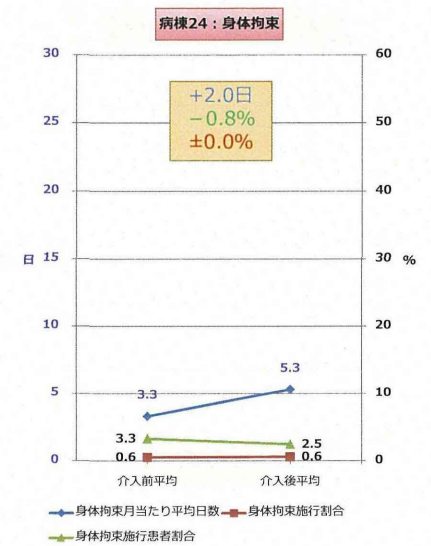
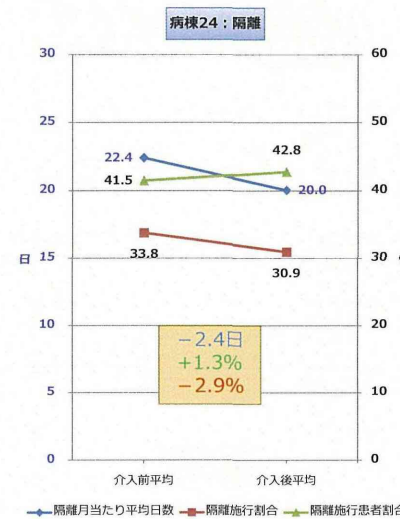


病棟：24

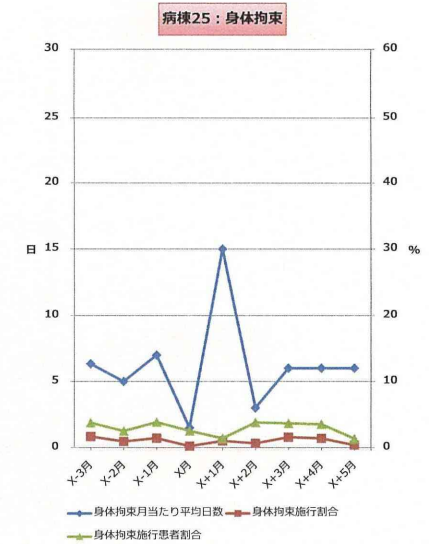
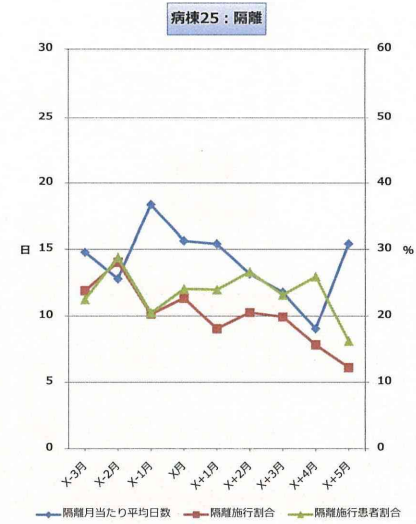
(施設：24) 病棟：24	介入	
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)
入院料	精神13対1	精神13対1
看護師配置		
女性 (うち准看護師)	18 (2)	17 (2)
男性 (うち准看護師)	11 (0)	11 (0)
病床数	55	55
うち隔離室を含む個室数	39	39
うち耐破壊性能の高い隔離室数	11	11
最も多くを占める治療対象疾患	F2	F2
次に多くを占める治療対象疾患	F8	F8
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	20才以上 65才未満
新規入棟患者数	5	7
退棟患者数	10	17
2011年平均在棟日数	253.3	253.2

G. 個々のケースで「行動制限最小化計画」を立案

※ 介入前平均：X-3月～X-1月の平均値
介入後平均：X月～X+5月の平均値



(施設 : 24) 病棟 : 25

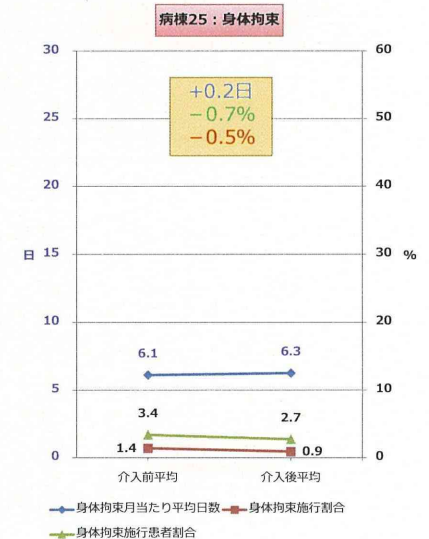
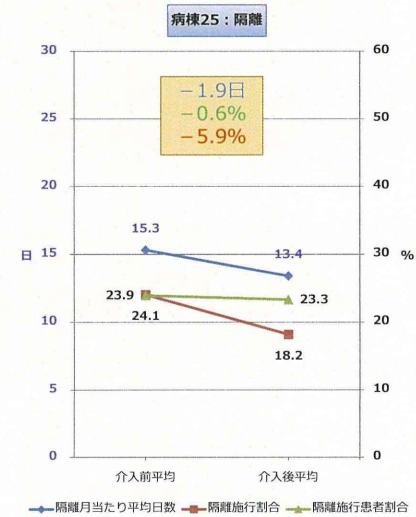


病棟 : 25

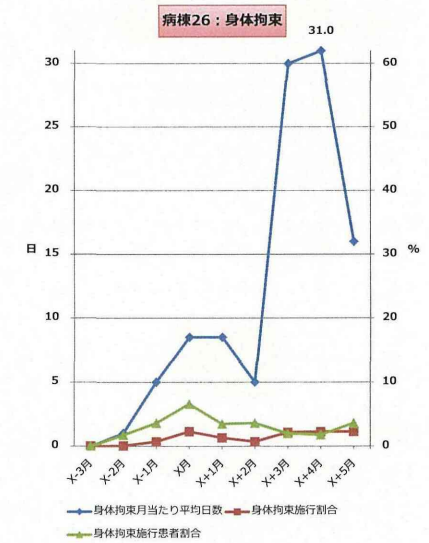
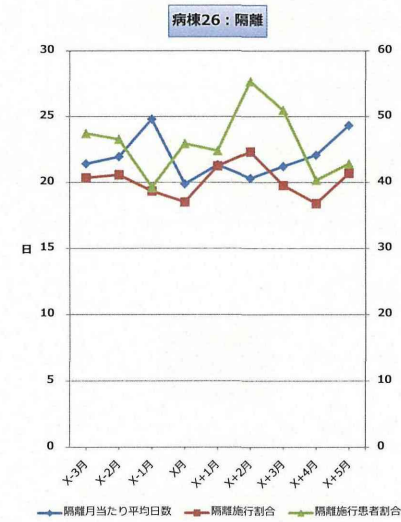
(施設 : 24) 病棟 : 25		介入
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)
入院料	精神13対1	精神13対1
看護師配置		
女性 (うち准看護師)	15 (0)	16 (0)
男性 (うち准看護師)	5 (0)	5 (0)
病床数	50	50
うち隔離室を含む個室数	26	26
うち耐破壊性能の高い隔離室数	4	4
最も多くを占める治療対象疾患	F1	F1
次に多くを占める治療対象疾患	F2	F2
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	20才以上 65才未満
新規入棟患者数	31	49
退棟患者数	33	37
2011年平均在棟日数	36.6	36.5

G. 個々のケースで「行動制限最小化計画」を立案

※ 介入前平均 : X-3月~X-1月の平均値
介入後平均 : X月~X+5月の平均値



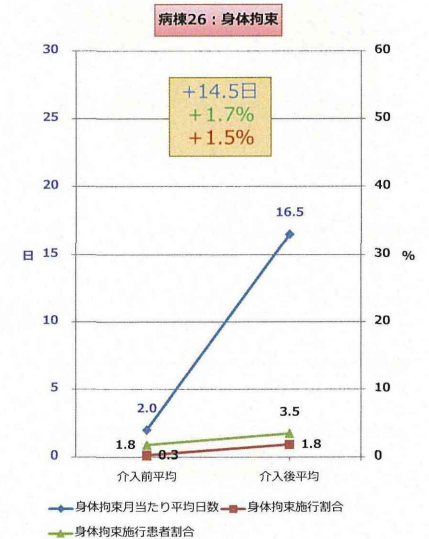
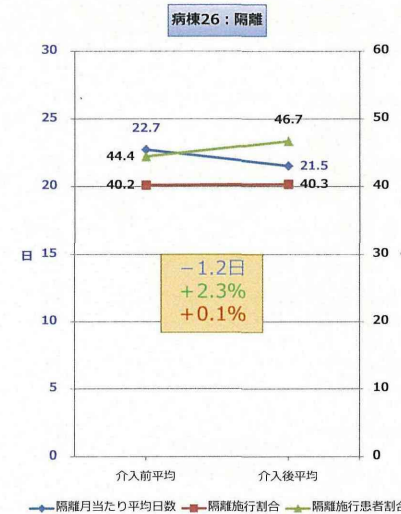
(施設 : 25) 病棟 : 26



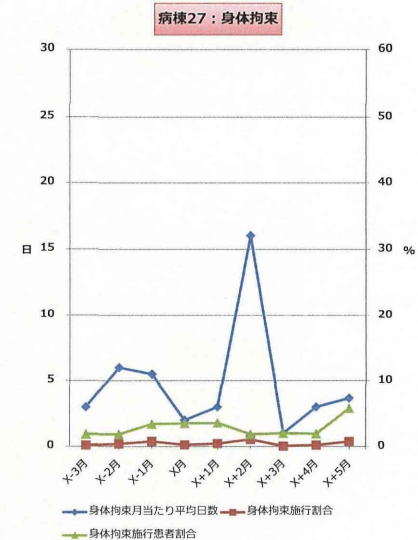
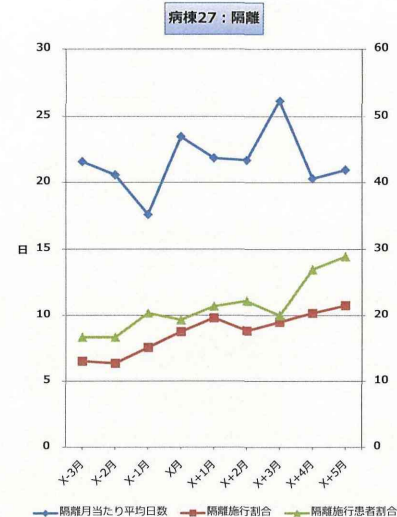
病棟 : 26

(施設 : 25) 病棟 : 26			介入	
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)	C. 隔離・身体拘束のデータを病棟内に貼りだす	
入院料	救急	救急	D. 隔離・身体拘束データを師長会で定期的 (月1回) に見直す	
看護師配置			E. 認定看護師による定期的研修会の開催	
女性 (うち准看護師)	17 (0)	17 (0)	G. 個々のケースで「行動制限最小化計画」を立案	
男性 (うち准看護師)	13 (0)	13 (0)		
病床数	50	50		
うち隔離室を含む個室数	30	30		
うち耐破壊性能の高い隔離室数	12	12		
最も多くを占める治療対象疾患	F2	F2		
次に多くを占める治療対象疾患	F3	F3		
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	20才以上 65才未満		
新規入棟患者数	14	15		
退棟患者数	11	14		
2011年平均在棟日数	112.7	112.7		

※ 介入前平均 : X-3月~X-1月の平均値
介入後平均 : X月~X+5月の平均値



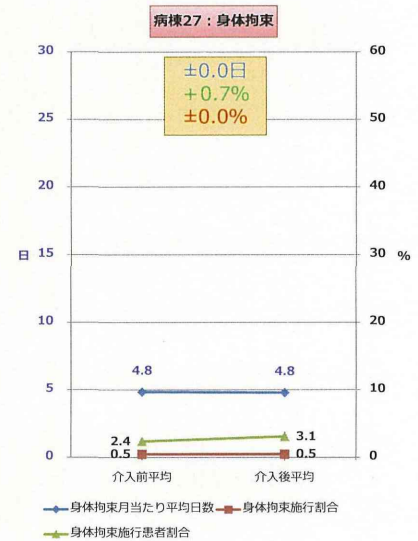
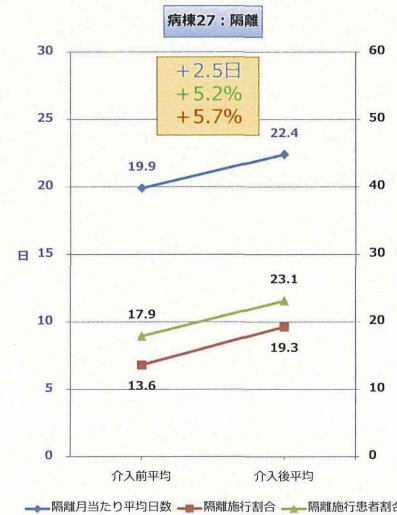
(施設 : 25) 病棟 : 27



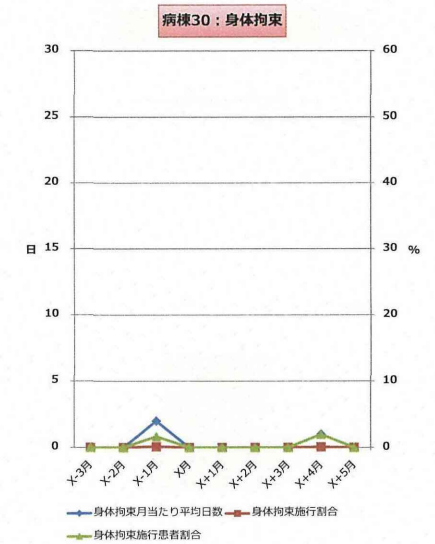
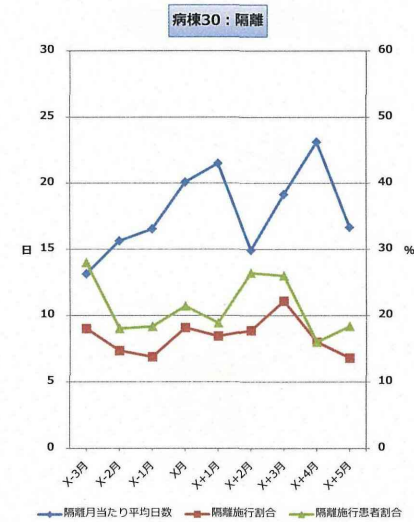
病棟 : 27

(施設 : 25) 病棟 : 27	介入		
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)	C. 隔離・身体拘束のデータを病棟内に貼りだす
入院料	精神15対1	精神15対1	D. 隔離・身体拘束データを師長会で定期的 (月1回) に見直す
看護師配置 女性 (うち准看護師) 男性 (うち准看護師)	13 (0) 10 (0)	13 (0) 10 (0)	E. 認定看護師による定期的研修会の開催
病床数 うち隔離室を含む個室数 うち耐破壊性能の高い隔離室数	50 14 2	50 14 2	G. 個々のケースで「行動制限最小化計画」を立案
最も多くを占める治療対象疾患 次に多くを占める治療対象疾患	F2 F3	F2 F3	
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	20才以上 65才未満	
新規入棟患者数	9	9	
退棟患者数	6	5	
2011年平均在棟日数	261.7	261.7	

※ 介入前平均: X-3月~X-1月の平均値
介入後平均: X月~X+5月の平均値



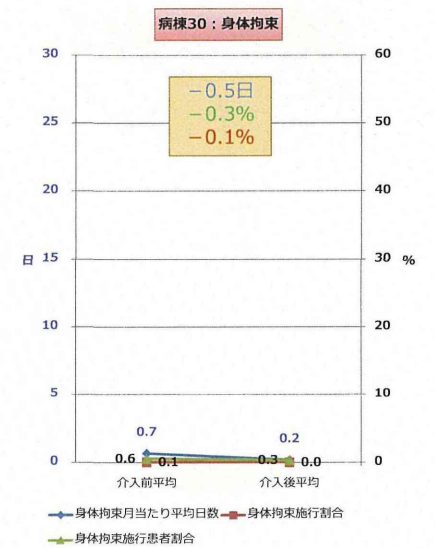
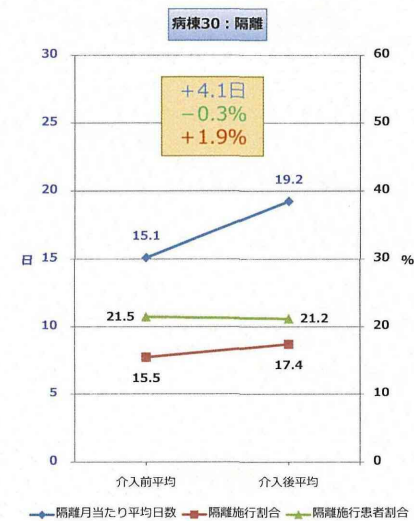
(施設 : 27) 病棟 : 30



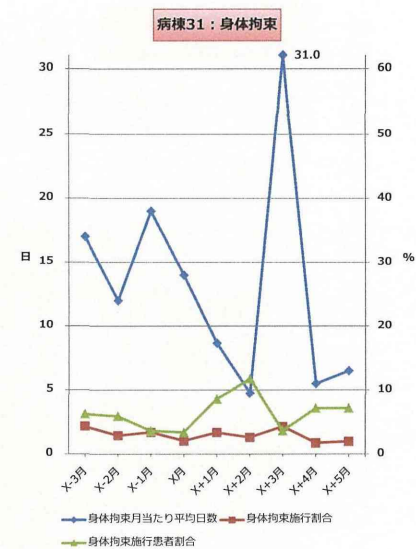
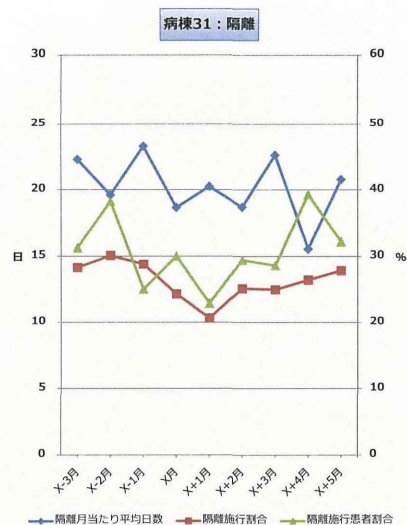
病棟 : 30

(施設 : 27) 病棟 : 30			介入	
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)	C. 隔離・身体拘束のデータを病棟内に貼りだす	
入院料	急性期	急性期	E. 認定看護師による定期的研修会の開催	
看護師配置				
女性 (うち准看護師)	5 (2)	5 (2)		
男性 (うち准看護師)	12 (3)	12 (2)		
病床数	48	48		
うち隔離室を含む個室数	14	14		
うち耐破壊性能の高い隔離室数	6	6		
最も多くを占める治療対象疾患	F2	F2		
次に多くを占める治療対象疾患	F3	F3		
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	20才以上 65才未満		
新規入棟患者数	17	13		
退棟患者数	16	15		
2011年平均在棟日数	82.57	82.57		

※ 介入前平均: X-3月~X-1月の平均値
介入後平均: X月~X+5月の平均値



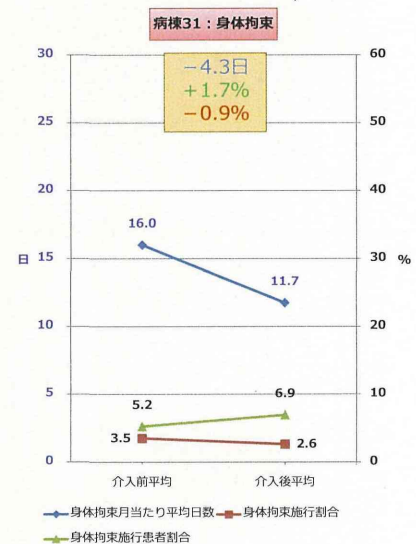
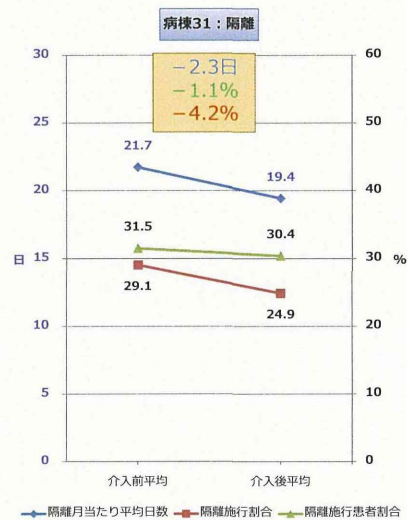
(施設 : 28) 病棟 : 31



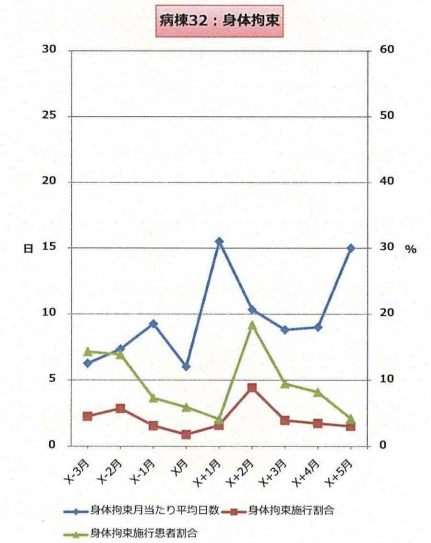
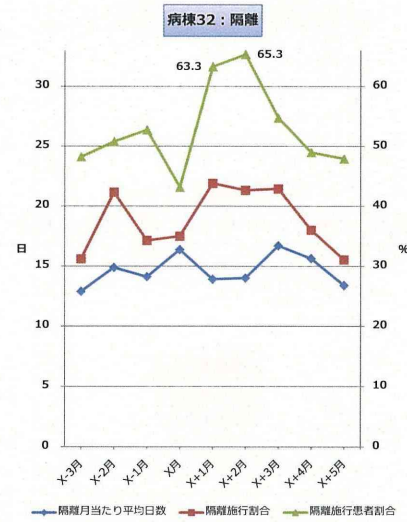
病棟 : 31

(施設 : 28) 病棟 : 31		介入	
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)	E. 認定看護師による定期的研修会の開催
入院料	精神15対1	精神15対1	G. 個々のケースで「行動制限最小化計画」を立案
看護師配置			
女性 (うち准看護師)	8 (0)	8 (0)	
男性 (うち准看護師)	9 (0)	9 (0)	
病床数	30	30	
うち隔離室を含む個室数	19	19	
うち耐破壊性能の高い隔離室数	6	6	
最も多くを占める治療対象疾患	F2	F2	
次に多くを占める治療対象疾患	F3	F3	
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	20才以上 65才未満	
新規入棟患者数	5	6	
退棟患者数	6	6	
2011年平均在棟日数	153.1	153.1	

※ 介入前平均 : X-3月~X-1月の平均値
介入後平均 : X月~X+5月の平均値



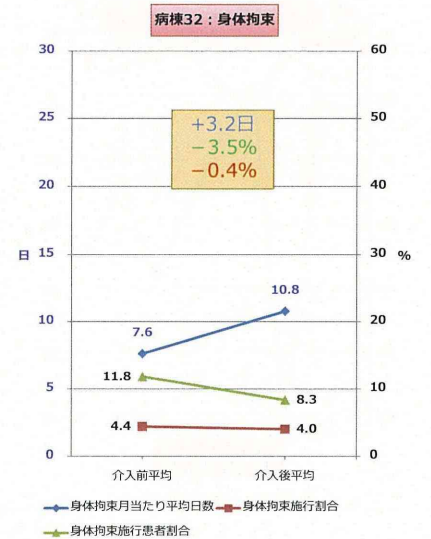
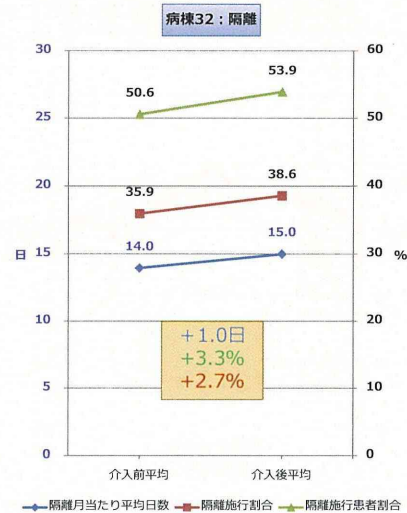
(施設 : 29) 病棟 : 32



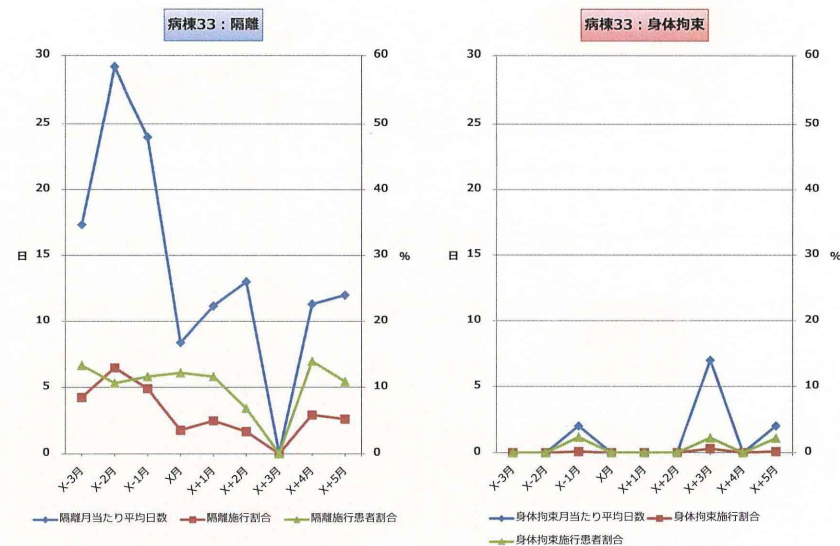
病棟 : 32

(施設 : 29) 病棟 : 32			介入	
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)	B. 隔離・身体拘束施行数の数値目標を立てる	
入院料	救急	救急	E. 認定看護師による定期的研修会の開催	
看護師配置			F. ディエスカレーション研修の開催	
女性 (うち准看護師)	11 (1)	11 (1)	J. セイフティプランの使用	
男性 (うち准看護師)	13 (0)	13 (0)	M. 開始直後、その場に居合わせたスタッフ間で隔離・身体拘束の振り返りを行う	
病床数	45	45	N. 数日後以降、利用者(患者)を含め、隔離・身体拘束の振り返りを行う	
うち隔離室を含む個室数	25	25		
うち耐破壊性能の高い隔離室数	14	14		
最も多くを占める治療対象疾患	F2	F2		
次に多くを占める治療対象疾患	F3	F3		
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	20才以上 65才未満		
新規入棟患者数	18	21		
退棟患者数	18	13		
2011年平均在棟日数	36.6	58.1		

※ 介入前平均 : X-3月~X-1月の平均値
介入後平均 : X月~X+5月の平均値

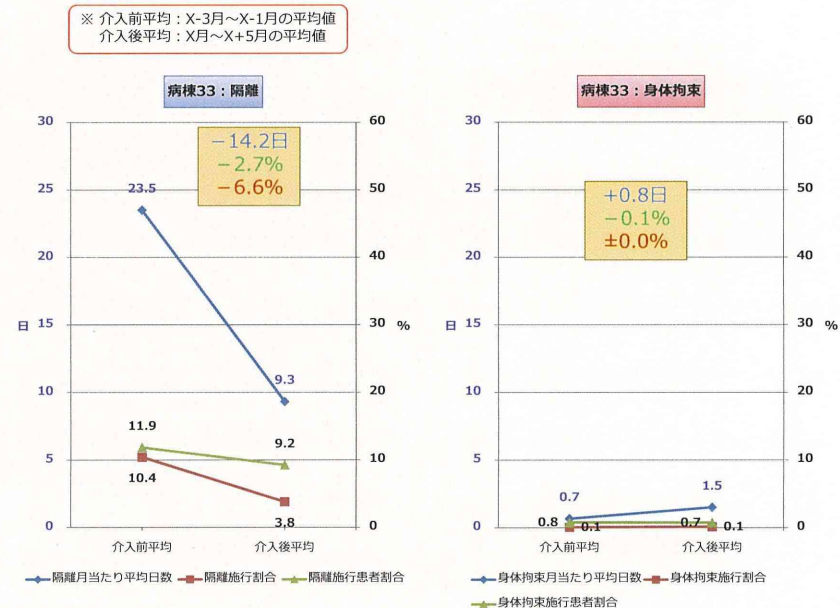


(施設 : 30) 病棟 : 33

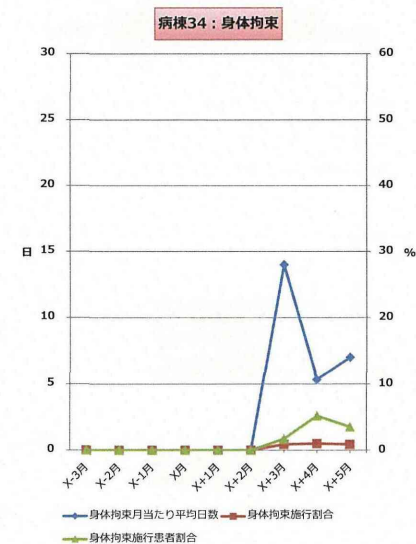
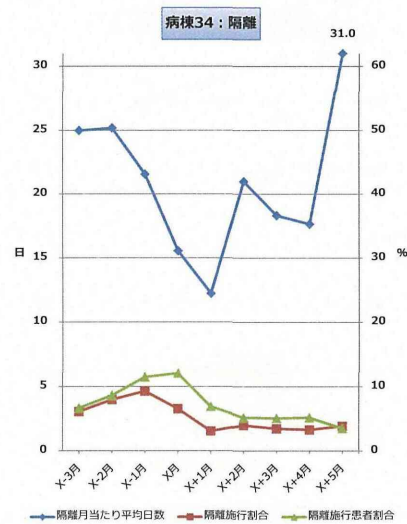


病棟 : 33

(施設 : 30) 病棟33			介入	
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)	B. 隔離・身体拘束施行数の数値目標を立てる	
入院料	精神15対1	精神15対1	C. 隔離・身体拘束のデータを病棟内に貼りだす	
看護師配置 女性 (うち准看護師) 男性 (うち准看護師)	7 (4) 8 (4)	6 (3) 8 (5)	D. 隔離・身体拘束データを師長会で定期的 (月1回) に見直す	
病床数 うち隔離室を含む個室数 うち耐破壊性能の高い隔離室数	40 13 4	40 13 4	E. 認定看護師による定期的研修会の開催	
最も多くを占める治療対象疾患 次に多くを占める治療対象疾患	F2 F3	F2 F3	F. ディエスカレーション研修の開催	
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	20才以上 65才未満	G. 個々のケースで「行動制限最小化計画」を立案	
新規入棟患者数	5	3	H. タイムアウトの実施	
退棟患者数	5	7	J. セイフティプランの使用	
2011年平均在棟日数	219	219	M. 開始直後、その場に居合わせたスタッフ間で隔離・身体拘束の振り返りを行う	
			N. 数日後以降、利用者 (患者) を含め、隔離・身体拘束の振り返りを行う	



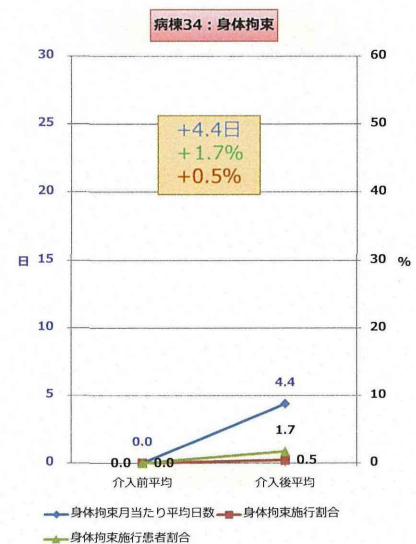
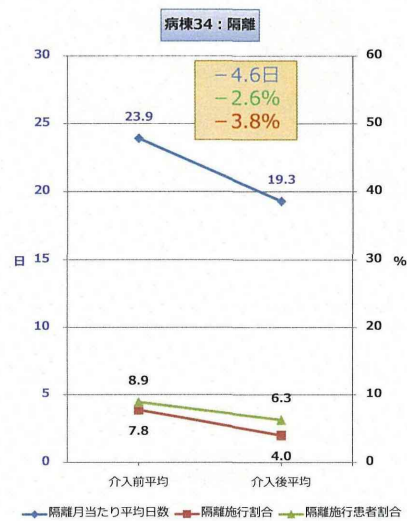
(施設 : 30) 病棟 : 34



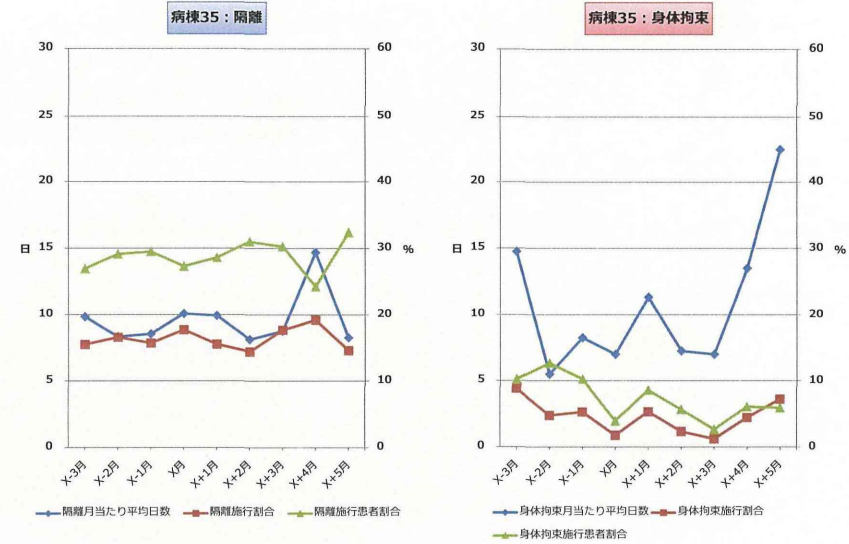
病棟 : 34

(施設 : 30) 病棟 : 34			介入	
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)		
入院料	精神15対1	精神15対1	B. 隔離・身体拘束施行数の数値目標を立てる	
看護師配置 女性 (うち准看護師) 男性 (うち准看護師)	7 (1) 8 (3)	7 (1) 8 (3)	C. 隔離・身体拘束のデータを病棟内に貼りだす	
病床数 うち隔離室を含む個室数 うち耐破壊性能の高い隔離室数	54 7 3	54 7 3	D. 隔離・身体拘束データを師長会で定期的 (月1回) に見直す	
最も多くを占める治療対象疾患 次に多くを占める治療対象疾患	F2 F3	F2 F3	E. 認定看護師による定期的研修会の開催	
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	20才以上 65才未満	F. ディエスカレーション研修の開催	
新規入棟患者数	9	2	G. 個々のケースで「行動制限最小化計画」を立案	
退棟患者数	8	5	H. タイムアウトの実施	
2011年平均在棟日数	239	239	I. セーフティプランの使用	
			M. 開始直後、その場に居合わせたスタッフ間で隔離・身体拘束の振り返りを行う	
			N. 数日後以降、利用者 (患者) を含め、隔離・身体拘束の振り返りを行う	

※ 介入前平均 : X-3月~X-1月の平均値
介入後平均 : X月~X+5月の平均値



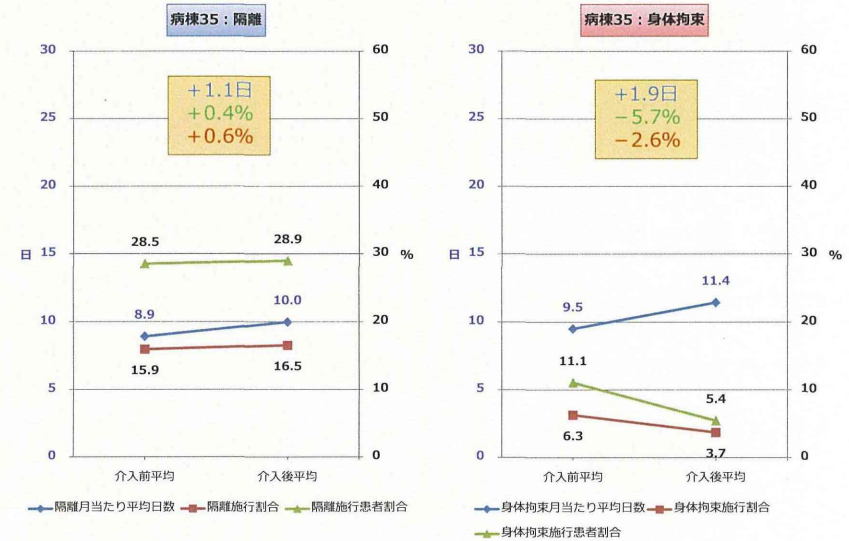
(施設 : 03) 病棟 : 35



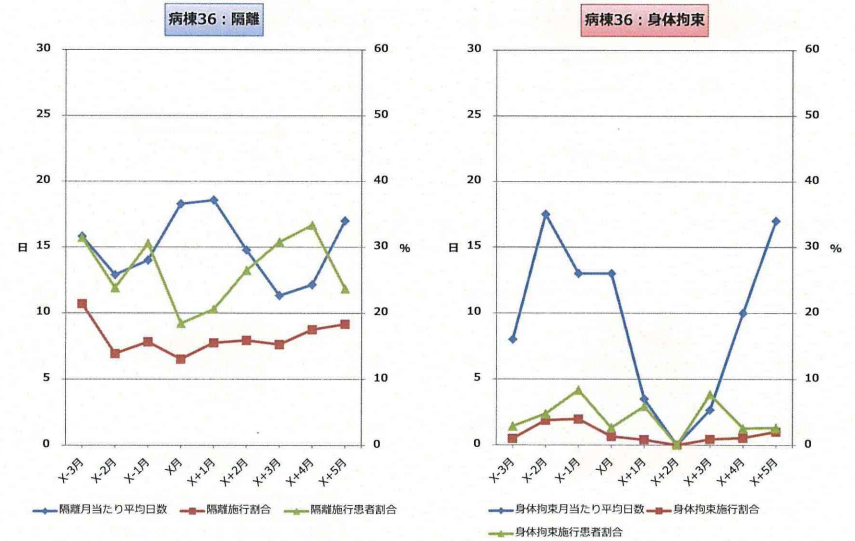
病棟 : 35

(施設 : 03) 病棟35			介入	
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)	C. 隔離・身体拘束のデータを病棟内に貼りだす	
入院料	急性期	急性期	D. 隔離・身体拘束データを師長会で定期的 (月1回) に見直す	
看護師配置			E. 認定看護師による定期的研修会の開催	
女性 (うち准看護師)	15 (0)	17 (0)	F. ディエスカレーション研修の開催	
男性 (うち准看護師)	10 (0)	10 (0)	G. 個々のケースで「行動制限最小化計画」を立案	
病床数	50	50		
うち隔離室を含む個室数	6	6		
うち耐破壊性能の高い隔離室数	5	5		
最も多くを占める治療対象疾患	F2	F2		
次に多くを占める治療対象疾患	F3	F4		
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	20才以上 65才未満		
新規入棟患者数	38	32		
退棟患者数	38	32		
2011年平均在棟日数	43.6	43.6		

※ 介入前平均：X-3月～X-1月の平均値
介入後平均：X月～X+5月の平均値



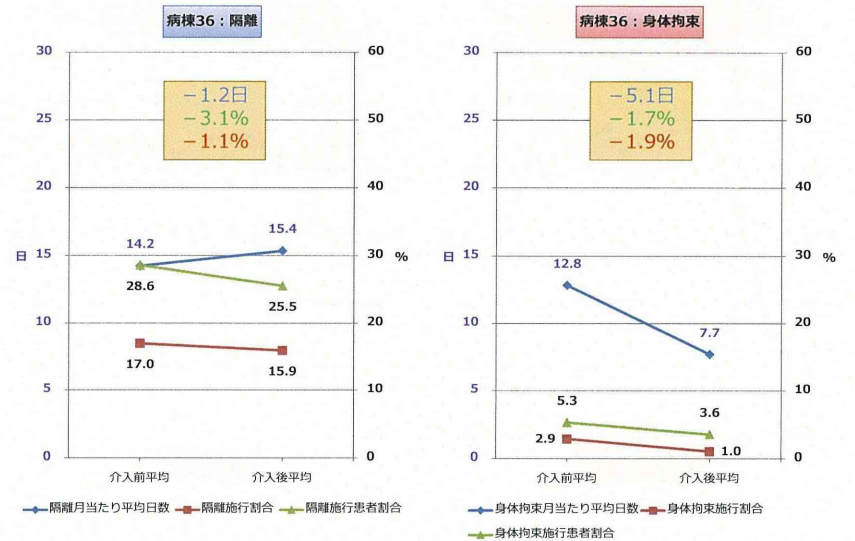
(施設 : 03) 病棟 : 36



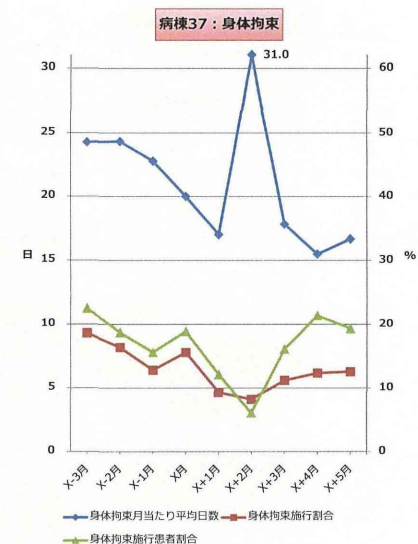
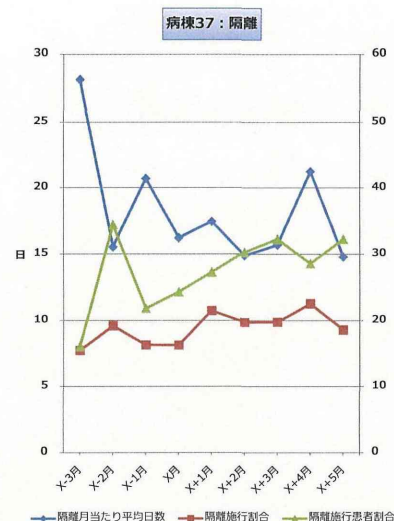
病棟 : 36

(施設 : 03) 病棟 : 36		介入	
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)	C. 隔離・身体拘束のデータを病棟内に貼りだす
入院料	精神15対1	精神15対1	D. 隔離・身体拘束データを師長会で定期的 (月1回) に見直す
看護師配置			E. 認定看護師による定期的研修会の開催
女性 (うち准看護師)	10 (0)	10 (0)	F. ディエスカレーション研修の開催
男性 (うち准看護師)	11 (0)	11 (0)	G. 個々のケースで「行動制限最小化計画」を立案
病床数	53	53	
うち隔離室を含む個室数	5	5	
うち耐破壊性能の高い隔離室数	4	4	
最も多くを占める治療対象疾患	F2	F2	
次に多くを占める治療対象疾患	F3	F3	
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	20才以上 65才未満	
新規入棟患者数	4	10	
退棟患者数	5	10	
2011年平均在棟日数	256.4	256.4	

※ 介入前平均 : X-3月~X-1月の平均値
介入後平均 : X月~X+5月の平均値



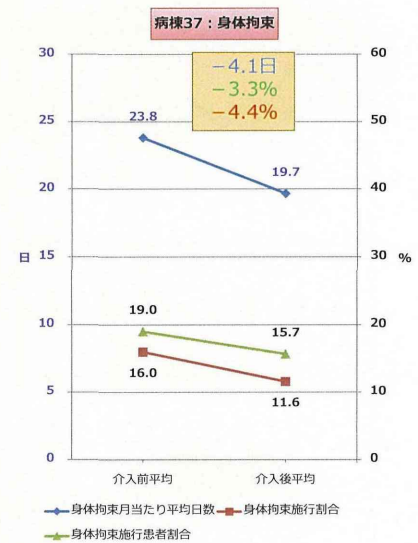
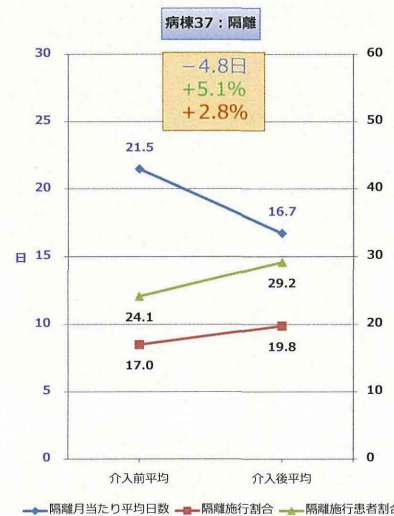
(施設 : 03) 病棟 : 37



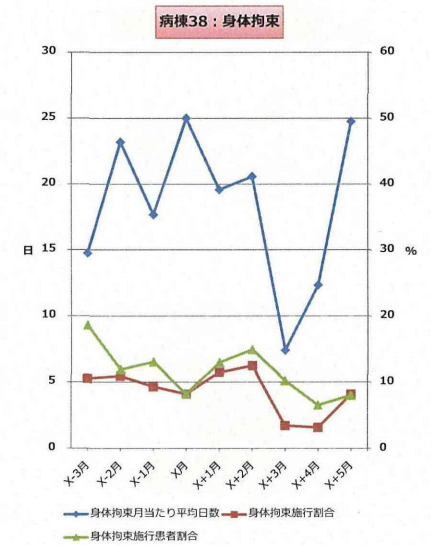
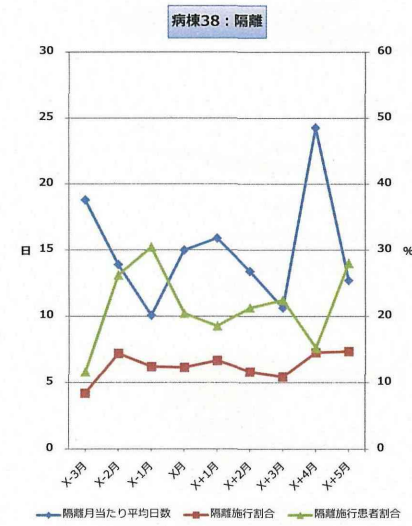
病棟 : 37

(施設 : 03) 病棟 : 37			介入	
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)	C. 隔離・身体拘束のデータを病棟内に貼りだす	
入院料	精神15対1	精神15対1	D. 隔離・身体拘束データを師長会で定期的 (月1回) に見直す	
看護師配置			E. 認定看護師による定期的研修会の開催	
女性 (うち准看護師)	16 (0)	12 (0)	F. ディエスカレーション研修の開催	
男性 (うち准看護師)	9 (0)	9 (0)	G. 個々のケースで「行動制限最小化計画」を立案	
病床数	70	70		
うち隔離室を含む個室数	7	7		
うち耐破壊性能の高い隔離室数	3	3		
最も多くを占める治療対象疾患	F2	F2		
次に多くを占める治療対象疾患	F6	F6		
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	20才以上 65才未満		
新規入棟患者数	3	7		
退棟患者数	4	3		
2011年平均在棟日数	220.9	220.9		

※ 介入前平均：X-3月～X-1月の平均値
介入後平均：X月～X+5月の平均値



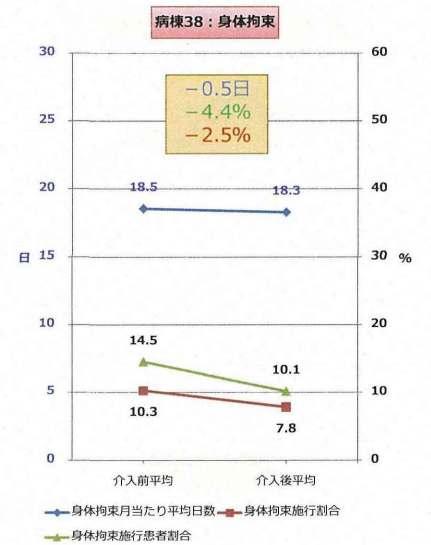
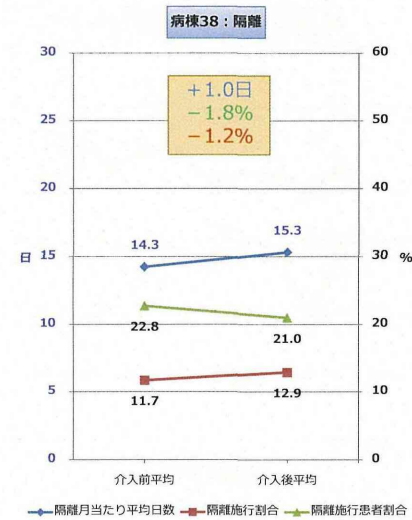
(施設 : 03) 病棟 : 38



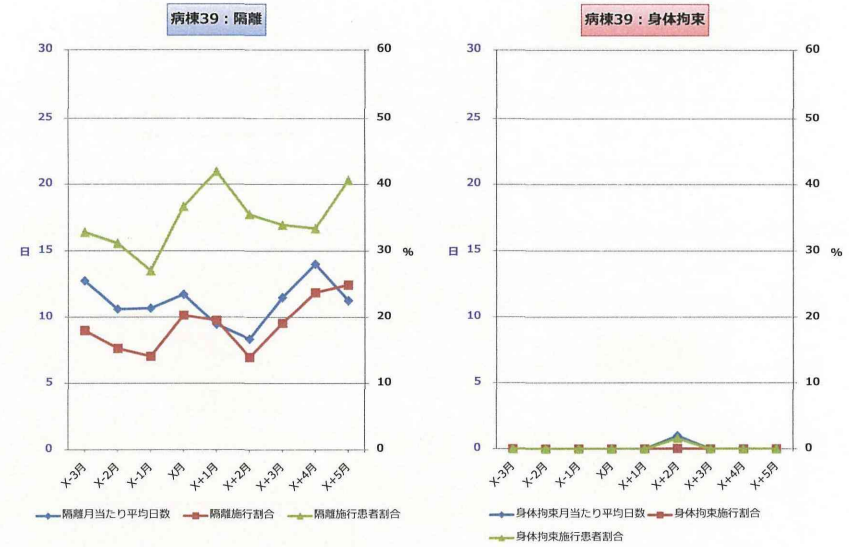
病棟 : 38

(施設 : 03) 病棟 : 38			介入	
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)	C. 隔離・身体拘束のデータを病棟内に貼り出す	
入院料	精神15対1	精神15対1	D. 隔離・身体拘束データを師長会で定期的 (月1回) に見直す	
看護師配置			E. 認定看護師による定期的研修会の開催	
女性 (うち准看護師)	25 (0)	25 (0)	F. ディエスカレーション研修の開催	
男性 (うち准看護師)	0 (0)	0 (0)	G. 個々のケースで「行動制限最小化計画」を立案	
病床数	70	70		
うち隔離室を含む個室数	6	6		
うち耐破壊性能の高い隔離室数	3	3		
最も多くを占める治療対象疾患	F2	F2		
次に多くを占める治療対象疾患	F3	F3		
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	20才以上 65才未満		
新規入棟患者数	9	12		
退棟患者数	9	9		
2011年平均在棟日数	186.6	186.6		

※ 介入前平均: X-3月~X-1月の平均値
介入後平均: X月~X+5月の平均値

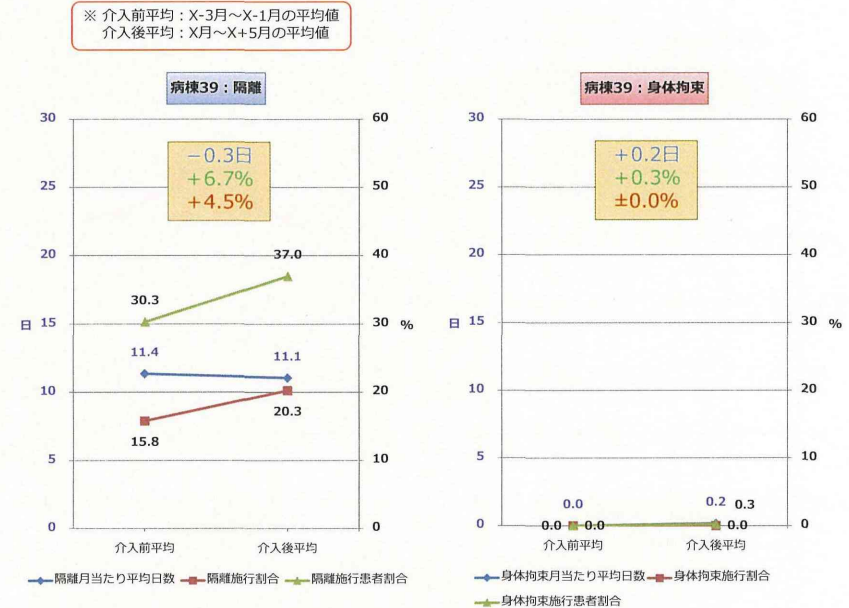


(施設 : 14) 病棟 : 39



病棟 : 39

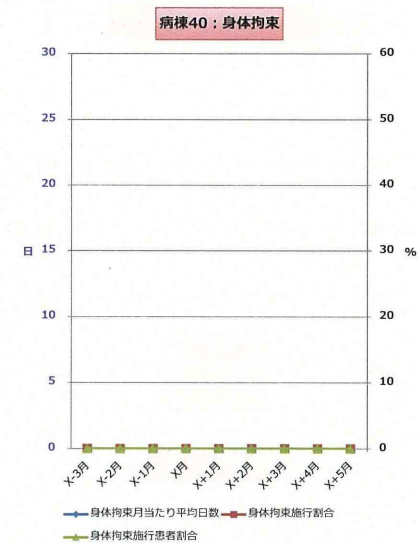
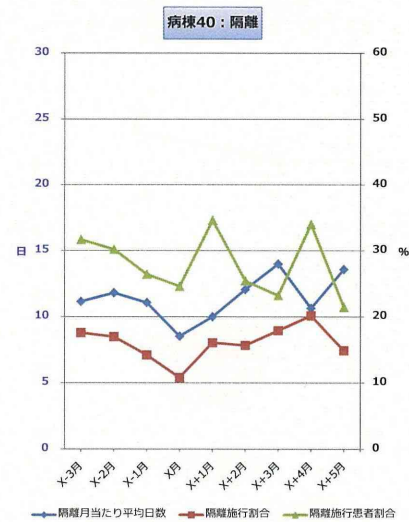
(施設 : 14) 病棟 : 39		介入
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)
入院料	救急 医療観察法	救急 医療観察法
看護師配置		
女性 (うち准看護師)	22 (1)	22 (1)
男性 (うち准看護師)	8 (0)	8 (0)
病床数	45	45
うち隔離室を含む個室数	33	33
うち耐破壊性能の高い隔離室数	3	3
最も多くを占める治療対象疾患	F2	F2
次に多くを占める治療対象疾患	F3	F3
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	20才以上 65才未満
新規入棟患者数	19	23
退棟患者数	18	26
2011年平均在棟日数	64.6	54.4
	E. 認定看護師による定期的研修会の開催 N. 数日後以降、利用者(患者)を含め、隔離・身体拘束の振り返りを行う	



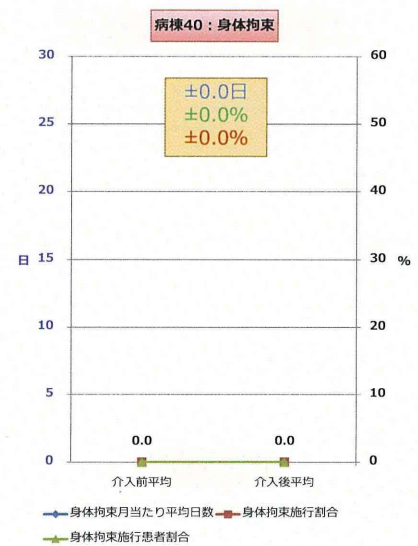
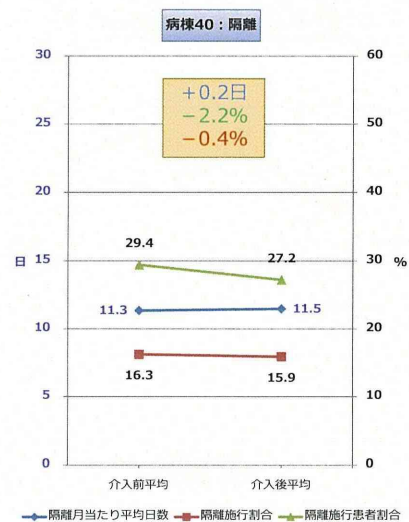
(施設：14) 病棟：40

病棟：40

(施設：14) 病棟：40		介入	
(調査票3より)	介入前 (X-1月)	介入後 (X+5月)	E. 認定看護師による定期的研修会の開催
入院料	急性期	急性期	N. 数日後以降、利用者（患者）を含め、隔離・身体拘束の振り返りを行う
看護師配置			
女性（うち准看護師）	15 (1)	15 (1)	
男性（うち准看護師）	5 (0)	5 (0)	
病床数	45	44	
うち隔離室を含む個室数	16	24	
うち耐破壊性能の高い隔離室数	3	2	
最も多くを占める治療対象疾患	F2	F2	
次に多くを占める治療対象疾患	F3	F3	
最も多い年齢層	20才以上 65才未満	20才以上 65才未満	
新規入棟患者数	17	16	
退棟患者数	18	15	
2011年平均在棟日数	58.7	61.4	



※ 介入前平均：X-3月～X-1月の平均値
介入後平均：X月～X+5月の平均値



資料 3

行動制限に関する介入研究（2011～2013）

介入病棟毎 データ解釈

【病棟特性】

調査票から得られた病棟のデータにもとづき、客観的に評価した。

病棟種別、スタッフ数、患者回転などから便宜上、主に急性期治療のウエイトを重視し、超急性期型、急性期型、ケースミックス、長期療養などの用語を用いて特徴を表現した。

【行動制限の状況】

データにもとづき、客観的に評価した。

便宜上隔離日数については1～2週、身体拘束については1週前後を「平均的」と表現した。

【介入】

以下の一覧のうち、それぞれの病棟で実施した介入を示した。

- B：隔離・身体拘束施行数の数値目標を立てる
- C：隔離・身体拘束のデータを病棟内に貼り出す
- D：隔離・身体拘束データを師長会で定期的（月1回）に見直す
- E：認定看護師による定期研修会の開催
- F：ディエスカレーション研修の開催
- G：個々のケースで「行動制限最小化計画」を立案
- H：タイムアウトの実施
- J：セイフティプランの使用
- M：開始直後、その場に居合わせたスタッフ間で隔離・身体拘束の振り返りを行う
- N：数日後以降、利用者（患者）を含め、隔離・身体拘束の振り返りを行う

【介入効果：ハードアウトカム】

データにもとづき、客観的に評価した。表現は便宜上以下のように統一した。

平均日数では 2.0日未満の変動：微増あるいは微減

2.0日以上の変動：増加あるいは減少

施行割合および施行患者割合では 5.0ポイント未満の変動：微増あるいは微減

5.0ポイント以上の変動：増加あるいは減少

「不変」については、指標間の関連や全体状況、変動経過、施行量の絶対数などを勘案して使用した。

【考察】

データにもとづき、客観的に考察を行った。

【結論】

現場スタッフの意見を参照し、考察した内容を総合的に評価して結論とした。